新年度の始まりを目前にした3月末、セ イコーウオッチ株式会社の本社へ卒業生の 庭崎紀代子さんを訪ねました。女性管理職 として取締役執行役員を務めるだけでな く、広報宣伝部長として海外出張も多く、 「毎日がエキサイティング」と語る庭崎さ んにお話を伺いました。その中で見えてき たことは、いつでも物事を前向きに楽しむ 気持ちと、「人」を通して商品を伝えてい くことの面白さでした。

### ●楽しかったから、ここまで来た

この会社を選んだのは社風が良く、女 性が働きやすかったからです。今でもその 印象は変わりません。初めは宝飾事業の商 品企画に携わり、輸入から営業・広告作成 まで手がけたことで、ものが売れていく仕 組みや、お客さまの反応が手に取るように わかりました。

その次に異動した腕時計事業はいわゆ る男社会。それでも工場に足しげく通い、 製造者と信頼関係を築くことでものづくり の思いにもふれ、それまでとまた違った面 白さを感じました。大変なことはたくさん ありましたが、振り返るとどれも楽しかっ た、楽しくてここまで来た、というのが本 音です。

## ● 作っているものに自信を持つ

腕時計はファッション用品と工業製品の 二つの側面を持つ、独特なアイテム。そし て身近なものだからこそ、アイデンティ ティの表現にもなります。製造者の思いや こだわりの詰まった商品を宣伝・広報とし て伝えていく上で、自分が商品に自信を 持っていると、それが自然と伝わるように 思います。形のあるものを媒介することが 自分には合っていたのかな、とも思ってい ます。

## ●ポジティブでいることが大事

楽しそうに仕事をしている人には、上司 はいろいろアドバイスしたり新しい挑戦を

Message な



INTERVIEW vol.34

セイコーウオッチ株式会社 取締役執行役員 マーケティング統括本部 副本部長 広報宣伝部長

# 庭崎 紀代子

Niwasaki Kiyoko

#### プロフィール

附属高等学校から本学に学び、1986 (昭和61)年3月史学科卒業。同年4月、株式会社 服部セイコーに入社、宝飾部門に配属。2001 (平成3)年ウオッチ部門へ異動。2015 (平成 27)年セイコーウオッチ株式会社マーケティング統括本部 副本部長 広報宣伝部長となり、 国内だけでなく、ブランドの価値を守りながら各国の状況を鑑み、積極的な海外進出と展 開を進める。同年、取締役執行役員となる。現在、株式会社和光の取締役も兼ねる。

させたりしたくなります。ですから、楽し そうにしていればいい仕事が回ってくる よ、と若い部下にも話しています。自身も 周りの人々には恵まれ、新たなチャレンジ をする機会や、自分のアイデアを具体化す るような仕事をいただき楽しかったと感じ

ています。

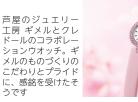
元気ではつらつとしてポジティブでいる ことがとても重要で、自分が楽しくないと 扱っている商品の良さも人には伝わりませ ん。最後は人の力だなと思います。

# インタビューを終えて

女性の役員として何か特別な思いがある のではないか、と思っていましたが、庭 崎さんの仕事を支えていたのはもっと純 粋な「楽しい」という気持ちであったこと に驚きました。そのような庭崎さんの温 かさが、周りの人も引き寄せているのだ

ろうと感じます。前 向きで好奇心に富み、 バイタリティにあふ れる姿勢を私も学ん でいきたいです。

取材・文・学生記者 文学部日本文学科 4 年 石井 瑠璃





石井記者愛用の腕時 計はセイコーウオッ チ社のブランド。「そ のベルトのデザイン はよく覚えている わ」と語る庭崎さん